

道路維持台帳附図作成要領（案）

平成 9 年 4 月

（令和 6 年 3 月 改訂）

北海道開発局 建設部 道路維持課

改訂履歴

本要領の改訂履歴を下表に示す。

改訂日	該当箇所	改訂内容
H 9. 4		平成9年4月版作成
H20. 10	P1～2	『1. 直轄道路管理路線図と路線別距離標一覧表』を追加
	P3～5	『2. タイトルデータ作成仕様』を追加
	P6	『3. イメージファイルの保存形式とファイル名命名規則』を追加
	P7	『4. 道路管理データベース更新データ一覧表』を追加
H31. 3	P6、7	『3. イメージファイルの保存形式とファイル名命名規則』で、T I F FとP D Fの両方で保存する旨の記載に変更
R4. 3	P4	旧名称で記載されている出張所コードを新名称に変更
	P10、11、13、16、22、23、30、31	タイトルの記載方法における距離標の表現を、旗揚げ表示に合わせてメートル単位に変更
	P9、28～30	付属物管理図及びその旗揚げ方法の説明箇所に、光ケーブルについての説明を追記
R6. 3	目次、P8	道路施設の旗上げ表示の更新情報を確認する際、道路照明、道路標識、道路情報板の場合は、全国道路施設点検DBの更新内容を踏まえて修正することを追加

目次

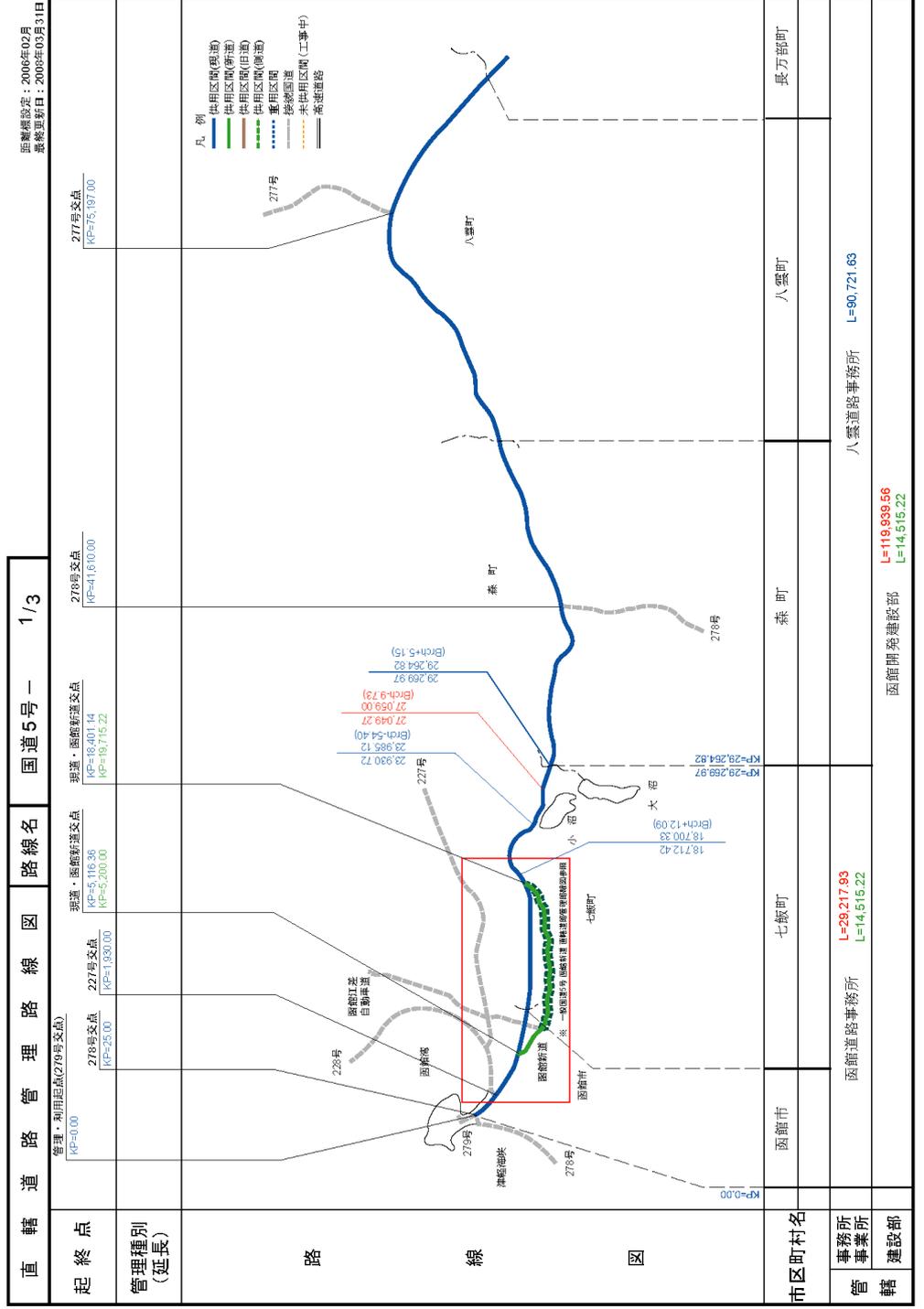
1. 直轄道路管理路線図と路線別距離標一覧表	
1-1 作成例	1
2. タイトルデータ作成仕様	
2-1 タイトルデータ構成項目	3
2-2 整理番号1の命名規則	4
2-3 コード表	4
2-4 作成例	5
3. イメージファイルの保存形式とファイル名命名規則	
3-1 保存形式	6
3-2 ファイル名命名規則	7
4. 道路施設の旗上げ表示	
4-1 サンプル（E010 防護柵）	8
4-2 一覧表の見方	8
5. 作成図面	
5-1 道路基本図	9
5-2 道路構造管理図	9
5-3 付属物管理図	9
6. 道路基本図（共通作成仕様）	
6-1 図面の規格・縮尺等	10
6-2 図面様式	10
6-3 記入内容および仕様	14
6-4 作成例	16
7. 道路構造管理図作成仕様	
7-1 舗装定規図	17
7-2 コード番号の表示および記入項目	17
7-3 作成例	23
8. 付属物管理図作成仕様	
8-1 コード番号の表示および記入項目	24
8-2 作成例	31
9. 変更箇所が判断できる資料の作成	32

1. 直轄道路管理路線図と路線別距離標一覧表

新規供用区間、線形変更による破鎖（ブレーキ）設定などの距離標（KP）管理の基礎資料として、調査職員が提供する「直轄道路管理路線図」および「路線別距離標一覧表」の更新を行う。

1-1 作成例

・直轄道路管理路線図



・路線別距離標一覽表

建設部	事務所	主道路	従道路	道路維持台帳附図		事務所・開 建	未供用・重 用	事務所	開建	コメント	変更履歴
				KP	Brch						
函館	函館	5	279	0.00				29,217.93	119,939.56	函館起点	
函館	函館	5	278	25.00							
函館	函館	5	227	1,930.00							
函館	函館	5	函館新道	5,116.36						函館新道起点	
函館	函館	5	函館新道	18,401.14						函館新道終点	
函館	函館	5		18,712.42	+ 12.09						
函館	函館	5		23,930.72	23,985.12	- 54.40				セハレート区間	
函館	函館	5		27,049.27	27,099.00	- 9.73					20080331追加
函館	函館	5		29,269.97						函館終点	
函館	八雲	5		29,264.82		5.15		90,721.63		八雲起点	
函館	八雲	5	278	41,610.00							
函館	八雲	5	277	75,197.00							
函館	八雲	5	230	95,177.00						230号交点	
函館	八雲	5	37	105,162.00							
函館	八雲	5		119,986.45						八雲終点	
小樽	俱知安	5		119,800.00		186.45		67,503.56	143,431.32	俱知安起点	20071105変更
小樽	俱知安	5		135,759.98	135,764.00	- 4.02					20071105変更
小樽	俱知安	5		154,760.45	154,764.95	- 4.50					20071105変更
小樽	俱知安	5		171,320.95	171,328.00	- 7.05					
小樽	俱知安	5	276	182,817.00							
小樽	俱知安	5		187,319.13						俱知安終点	
小樽	岩内	5		187,319.13				17,152.00		岩内起点	
小樽	岩内	5	276	196,547.13	196,551.13	- 4.00					
小樽	岩内	5		204,475.13							
小樽	岩内	5		204,475.13							
小樽	小樽	5		216,605.43	216,606.43	- 1.00		58,775.76		岩内終点	
小樽	小樽	5	229	223,673.00						小樽起点	
小樽	小樽	5		234,511.00	234,512.86	- 1.86					
小樽	小樽	5	393	245,166.00							
小樽	小樽	5		253,999.40	254,012.77	- 13.37					
小樽	小樽	5		260,775.13	260,792.68	+ 22.45					
小樽	小樽	5	337	261,793.00						337号交点	
小樽	小樽	5		263,244.67						小樽終点	
札幌	札幌	5		263,100.00		144.67		19,027.58	19,027.58	札幌起点	
札幌	札幌	5	231/274	277,729.00							
札幌	札幌	5	12	282,127.58						札幌終点	

2. タイトルデータ作成仕様

タイトルデータとは、道路維持台帳附図1枚毎に必要な数値文字データであり、附図検索システムに登録されるものである。

2-1 タイトルデータ構成項目

No.	項目名	属性	桁数		説明
			全体	小数	
1	処理区分	テキスト	1		“S”(新規追加) or “C”(修正) or “D”(削除)
2	地整C	テキスト	2		“81”【固定値】
3	事務所C	テキスト	2		2-3参照
4	出張所C	テキスト	2		
5	路線	テキスト	4		“0”を充填した4桁(例. 一般国道5号:0005)
6	現旧区分C	テキスト	1		2-3参照
7	整理番号1	テキスト	8		2-2参照
8	整理番号2	テキスト	4		
9	整理番号3	テキスト	4		
10	地整	テキスト	22		“北海道開発局”【固定値】
11	事務所	テキスト	22		2-3参照
12	出張所	テキスト	22		
13	補助番号	テキスト	2		“*”【固定値】
14	現旧区分	テキスト	4		2-3参照
15	百米標自	数値	5	1	
16	距離自	数値	4		
17	百米標至	数値	5	1	
18	距離至	数値	4		
19	道路種別C	テキスト	2		2-3参照
20	道路種別	テキスト	10		
21	図面種別C	テキスト	3		
22	図面種別	テキスト	20		
23	図面名称	テキスト	20		図面種別と同一
24	縦縮尺母数	テキスト	6		“500”(市街地) or “1000”(郊外地)
25	横縮尺母数	テキスト	6		
26	調製年月日	テキスト	8		yyyyymmdd(初期登録日付と同一)
27	登録年月日	テキスト	8		
28	図面サイズ	テキスト	2		“A1”【固定値】
29	ファイル名	テキスト	12		何も入力しない
30	図面媒体名称	テキスト	10		“SERVER”【固定値】
31	初期登録日付	日付			図面を新規に作成した日付
32	修正日付	日付			図面を修正した日付
33	エラー有無フラグ	テキスト	1		“*”【固定値】

注) 更新しないタイトルデータの処理区分は、空白とする。

新規に作成した場合は、調製年月日、登録年月日、初期登録日付、修正日付を同一日付とし、更新の場合は、修正日付のみ変更する。

2-2 整理番号1の命名規則

以下の規則に則って、8桁で構成される。

- 1桁目 : 出張所のイニシャルコード (2-3参照)
- 2~4桁目 : 路線番号
- 5~7桁目 : 001からの連番
- 8桁目 : 図面種別コード (2-3参照)

例) S0050010

- S : 札幌道路事務所
- 005 : 一般国道5号
- 001 : 起点から1番目の図面
- 0 : 道路基本図

2-3 コード表

事務所コード、出張所コード、イニシャルコード

事務所C	事務所	出張所C	イニシャル	出張所
21	札幌開発建設部	42	S	札幌道路事務所
		43	I	岩見沢道路事務所
		44	C	千歳道路事務所
		45	T	滝川道路事務所
		46	F	深川道路事務所
23	函館開発建設部	42	H	函館道路事務所
		44	Y	八雲道路事務所
		46	E	江差道路事務所
24	小樽開発建設部	42	O	小樽道路事務所
		44	K	倶知安開発事務所
		45	I	岩内道路事務所
25	旭川開発建設部	42	A	旭川道路事務所
		44	S	士別道路事務所
		45	F	富良野道路事務所
26	室蘭開発建設部	42	T	苫小牧道路事務所
		43	M	室蘭道路事務所
		48	A	有珠道路事務所
		49	H	日高道路事務所
		50	U	浦河道路事務所

事務所C	事務所	出張所C	イニシャル	出張所
27	釧路開発建設部	42	K	釧路道路事務所
		43	N	根室道路事務所
		44	T	弟子屈道路事務所
		45	S	中標津道路事務所
28	帯広開発建設部	42	O	帯広道路事務所
		44	H	広尾道路事務所
		46	A	足寄道路事務所
29	網走開発建設部	42	K	北見道路事務所
		43	A	網走道路事務所
		45	E	遠軽開発事務所
		46	O	興部道路事務所
30	留萌開発建設部	31	R	留萌開発事務所
		42	H	羽幌道路事務所
31	稚内開発建設部	31	W	稚内道路事務所
		42	H	浜頓別道路事務所

現旧区分コード

現旧区分C	現旧区分
1	現道
2	旧道
3	新道

道路種別コード

道路種別C	道路種別
11	本道
12	ランプ道
13	副道
14	側道
99	その他

図面種別コード

図面種別C	図面種別
0	道路基本図
1	道路構造管理図
2	付属物管理図

2-4 作成例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
1	処理 区分	地区 C	事務所 C	出張所 C	路線 区分C	現地 区分C	整理番号 1	整理 番号2	整理 番号3	地盤	事務所	出張所	編成 番号	現地 区分	百米標 自	距離 自	百米標 至	距離 至	道路 種別C	道路 種別	区画 種別C	区画種別	区画名称
2		81	21	42	0005	1	S0050010	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.1	0	263.4	0.0	11	本道	0	道路基本図	道路基本図
3		81	21	42	0005	1	S0050011	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.1	0	263.4	0.0	11	本道	1	道路構造管理図	道路構造管理図
4		81	21	42	0005	1	S0050012	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.1	0	263.4	0.0	11	本道	2	付属物管理図	付属物管理図
5		81	21	42	0005	1	S0050020	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.4	0	263.7	0.0	11	本道	0	道路基本図	道路基本図
6		81	21	42	0005	1	S0050021	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.4	0	263.7	0.0	11	本道	1	道路構造管理図	道路構造管理図
7		81	21	42	0005	1	S0050022	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.4	0	263.7	0.0	11	本道	2	付属物管理図	付属物管理図
8		81	21	42	0005	1	S0050030	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.7	0	264	0.0	11	本道	0	道路基本図	道路基本図
9		81	21	42	0005	1	S0050031	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.7	0	264	0.0	11	本道	1	道路構造管理図	道路構造管理図
10		81	21	42	0005	1	S0050032	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	263.7	0	264	0.0	11	本道	2	付属物管理図	付属物管理図
11		81	21	42	0005	1	S0050040	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	264	0	264.3	0.0	11	本道	0	道路基本図	道路基本図
12		81	21	42	0005	1	S0050041	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	264	0	264.3	0.0	11	本道	1	道路構造管理図	道路構造管理図
13		81	21	42	0005	1	S0050042	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	264	0	264.3	0.0	11	本道	2	付属物管理図	付属物管理図
14		81	21	42	0005	1	S0050050	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	264.3	0	264.6	0.0	11	本道	0	道路基本図	道路基本図
15		81	21	42	0005	1	S0050051	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	264.3	0	264.6	0.0	11	本道	1	道路構造管理図	道路構造管理図
16		81	21	42	0005	1	S0050052	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	264.3	0	264.6	0.0	11	本道	2	付属物管理図	付属物管理図

	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG
1	座標 点数	座標 点数	年月日	年月日	座標 サイズ	ファイル 名	座標 経緯名称	初期登録 日付	修正日付	エラー有無 フラグ
2	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
3	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
4	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
5	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
6	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
7	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
8	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
9	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
10	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
11	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
12	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
13	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
14	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
15	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*
16	500	500	1986/12/10	1986/12/10	A1		SERVER	1987/01/01	2008/03/12	*

3. イメージファイルの保存形式とファイル名命名規則

3-1 保存形式

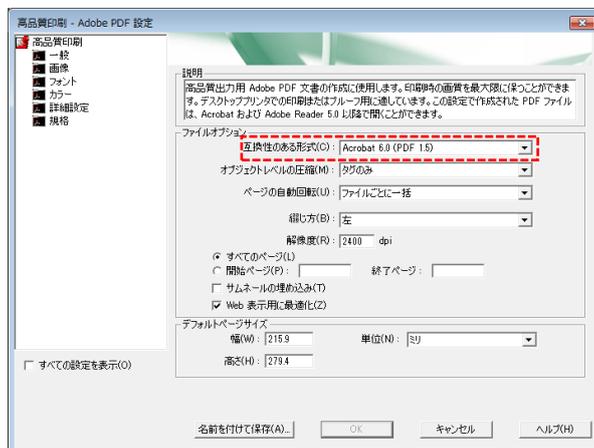
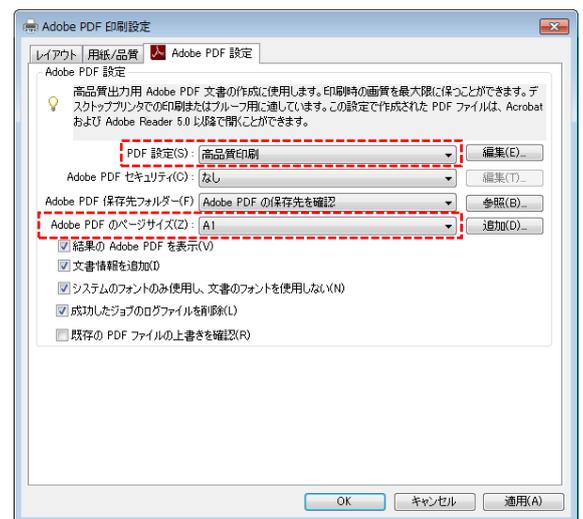
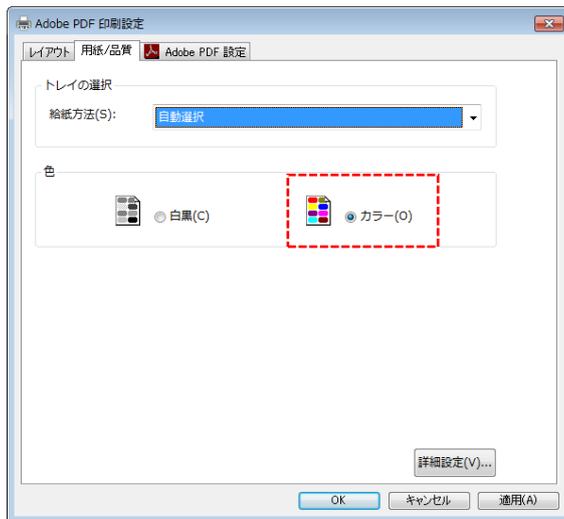
イメージファイルについては、T I F F形式とP D F形式の両方で保存する。

1) T I F F形式について

- ・階調 : 白黒2階調
- ・解像度 : 200dpi
- ・圧縮方式 : G4圧縮

2) P D F形式について

T I F F形式で保存したファイルについて、以下の赤枠の設定内容を参考にP D F形式へ変換する。



- ※ 色設定について、「カラー」を選択することでイメージの判読性が低下するような場合は「白黒」を選択することも認める
- ※ 品質設定について、イメージの判読性を確保できる場合は「標準設定」を選択することも認める

3-2 ファイル名命名規則

1～2桁目は、「90」（固定値）

3桁目以降は、「2-1 タイトルデータ構成項目」の地整C～整理番号3までをそのまま使用する。

作成例) 9081214200051S005001000000000.tif (または.pdf)

90	: 固定値
81	: 地整C (固定値)
21	: 事務所C
42	: 出張所C
0005	: 路線
1	: 現旧区分C
S0050010	: 整理番号1
0000	: 整理番号2
0000	: 整理番号3

4. 道路施設の旗上げ表示

工種毎の道路管理 DB 更新データで、この一覧表を基に道路施設の旗上げ表示を行うものとするが、道路照明、道路標識、道路情報板については、全国道路施設点検 DB (付属物 DB) の更新内容を確認し、旗上げの新規、削除、位置変更等の対応を行う。

4-1 サンプル (E010 防護柵)

整理番号	処理区分	工種	地盤	事務所	出張所	路線	現旧区分	整理番号1	整理番号2	整理番号3	地建	事務所	出張所	補助番号	現旧区分	市区町村	市区町村	検査数	名称
8121420005100101000000000000	S	*	81	21	42	0005	1	00101000	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	01109	北海道札幌市手稲区	#	#
8121420005100390000000000000	C	*	81	21	42	0005	1	00390000	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	01109	北海道札幌市手稲区	#	#
8121420005100390000000000000	R	*	81	21	42	0005	1	00390000	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	01109	北海道札幌市手稲区	#	#
8121420005100400000000000000	C	*	81	21	42	0005	1	00400000	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	01109	北海道札幌市手稲区	#	#
8121420005100400000000000000	R	*	81	21	42	0005	1	00400000	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	01109	北海道札幌市手稲区	#	#
8121420005100430100000000000	D	*	81	21	42	0005	1	00430100	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	01109	北海道札幌市手稲区	#	#
8121420005100440100000000000	D	*	81	21	42	0005	1	00440100	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	01109	北海道札幌市手稲区	#	#
8121420005100450000000000000	D	*	81	21	42	0005	1	00450000	0000	0000	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	*	現道	01109	北海道札幌市手稲区	#	#

百米標自	距離自	百米標至	距離至	調製年月日	改訂年月日	施設完成年度	施設改修年度	上り下り区分	上り下り区分	設置箇所	防護柵種別	防護柵種別	設置区分	設置区分	設置目的	設置目的	材質
263.6	98	263.7	48	#	#	416	*	2	下り線	7	歩道路肩側	E82	G p - P t 2 - 1, 5 E	本線	14	歩行者・自転車等の路外への転落防止	1
267.1	42	267.1	43	19961210	#	?	417	1	上り線	6	歩道車道側	E82	その他 G p (土中用)	本線	15	歩行者等の横断防止	1
267.1	39	267.1	43	19961210	*	?	417	1	上り線	6	歩道車道側	E82	その他 G p (土中用)	本線	15	歩行者等の横断防止	1
267.1	55	267.1	61	19961210	#	?	417	1	上り線	6	歩道車道側	E82	その他 G p (土中用)	本線	15	歩行者等の横断防止	1
267.1	55	267.1	67	19961210	*	?	*	1	上り線	6	歩道車道側	E82	その他 G p (土中用)	本線	15	歩行者等の横断防止	1
267.2	79	267.2	81	#	#	?	*	1	上り線	6	歩道車道側	E82	その他 G p (土中用)	本線	15	歩行者等の横断防止	1
267.3	35	267.3	62	#	?	?	*	1	上り線	6	歩道車道側	E82	その他 G p (土中用)	本線	13	歩行者・自転車等の保護	1
267.3	63	267.3	74	19961210	*	?	*	1	上り線	6	歩道車道側	E82	その他 G p (土中用)	本線	15	歩行者等の横断防止	1

材質	柵高	設置延長	完成年月	表面処理	表面処理	関連施設名称	関連施設整理番号	備考
鋼材	1.15	50.0	200412	#	#	歩道自歩道	00020020	#
鋼材	0.85	1.0	?	#	#	歩道自歩道	00020130	#
鋼材	0.80	4.0	?	#	#	歩道自歩道	00020130	*
鋼材	0.85	6.0	?	#	#	歩道自歩道	00020130	#
鋼材	0.80	12.0	?	#	#	歩道自歩道	00020130	*
鋼材	0.80	2.0	?	#	#	歩道自歩道	00030000	#
鋼材	0.80	27.0	?	#	#	歩道自歩道	00030000	#
鋼材	0.80	11.0	?	#	#	歩道自歩道	00020130	*

4-2 一覧表の見方

1) 処理区分

処理区分	説明
S	新規に追加する施設であるため、旗上げ表示を行う
D	削除する施設であるため、旗上げ表示を削除する
C	既存施設の修正であるため、旗上げ記載内容に影響がある箇所を修正する
R	処理区分 C と対となる更新前データであり、変更箇所を青色の網掛けで塗りつぶしている (確認用として使用)

2) 旗上げ記載項目

当作成要領 (案)「7-2 2)」、「8-1 2)」内、「道路管理データベースデータ」の項目名とは、この一覧表の項目名のことであり、記載されているデータを旗上げに使用する。

3) 作成例

上記「4-1」を基にした作成例は、以下の通りである。

- ・処理区分が「S」である1行目は、新規に旗上げ表示する。
旗上げ記載項目は、25ページのE010防護柵にある通り、百米標自・距離自・百米標至・距離至・上り下り区分・防護柵種別・設置延長となる。
- ・処理区分が「D」である6~8行目は、既存の旗上げ表示を削除する。
- ・処理区分が「C」である2行目と4行目は、旗上げ記載内容である、距離自 (距離至)・設置延長が更新されているため、旗上げを修正する。

5. 作成図面

道路維持台帳附図は、次の3種類を一組として作成する。図面種別毎の記載項目を以下に示す。

5-1 道路基本図

下記は、共通作成仕様として、5-2 道路構造管理図、5-3 付属物管理図にも適用されます。

- ・平面線形
- ・縦断線形
- ・地形平面図
- ・平面線形要素表
- ・図面タイトル表
- ・図面整理番号
- ・附図修正年月
- ・地形平面図凡例表
- ・方位記号
- ・市区町村名、条丁目、境界線等

5-2 道路構造管理図

- ・道路交差点
- ・鉄道交差点
- ・独立専用自歩道
- ・中央帯
- ・橋梁
- ・橋側歩道橋
- ・横断歩道橋
- ・トンネル
- ・洞門
- ・スノーシェッド
- ・地下横断歩道
- ・道路BOX
- ・横断BOX
- ・パイプカルバート
- ・のり面
- ・擁壁
- ・自動車駐車場
- ・自転車駐車場
- ・舗装定規図（幅員構成、舗装、歩道及び自転車歩行者道、中央分離帯、環境施設帯）

5-3 付属物管理図

- ・橋梁
- ・橋側歩道橋
- ・トンネル
- ・洞門
- ・スノーシェッド
- ・防護柵
- ・道路照明
- ・反射式視線誘導標
- ・自光式視線誘導標
- ・道路標識
- ・道路情報板
- ・交通遮断機
- ・I. T. V
- ・車両感知器
- ・車両諸元計測施設
- ・気象観測施設
- ・災害予知装置
- ・雪崩防止施設
- ・落石防止施設
- ・消雪パイプ
- ・ロードヒーティング
- ・除雪ステーション
- ・C A B電線共同溝
- ・植栽
- ・遮音施設
- ・遮光フェンス
- ・流雪溝
- ・光ケーブル
- ・ビーコン

6. 道路基本図（共通作成仕様）

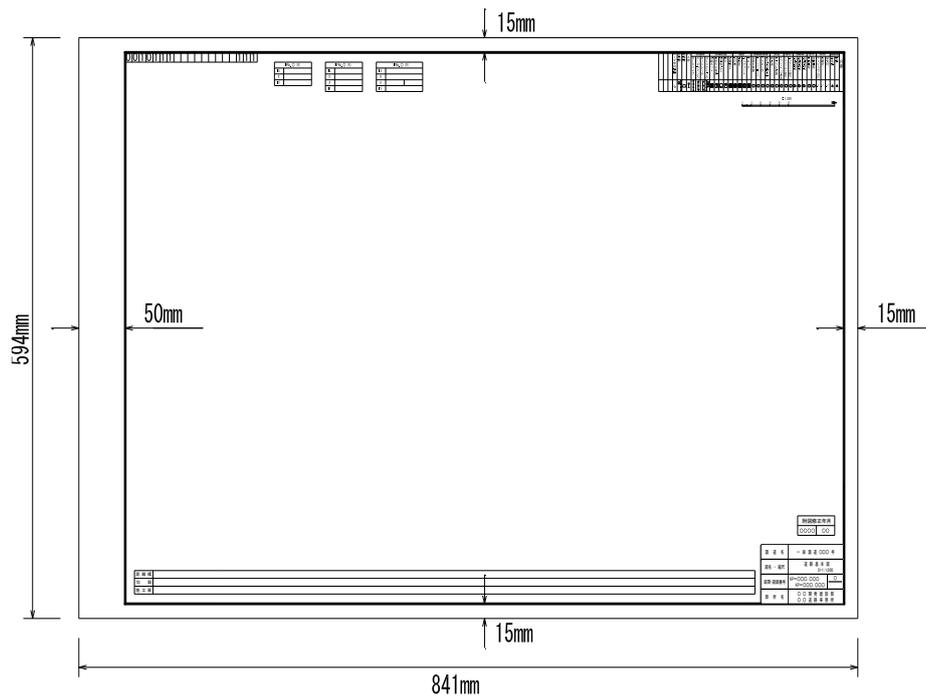
6-1 図面の規格・縮尺

- ・図面規格は、A 1 サイズ（594×841）とする。
- ・縮尺は、S=1:500 または S=1:1,000 とする。

6-2 図面様式

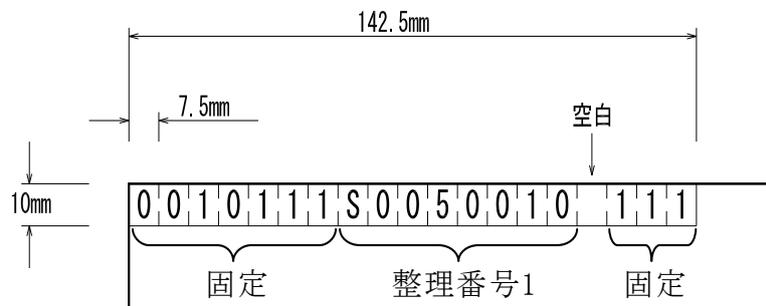
1) 図面の枠取り

- ・下図を標準とする。



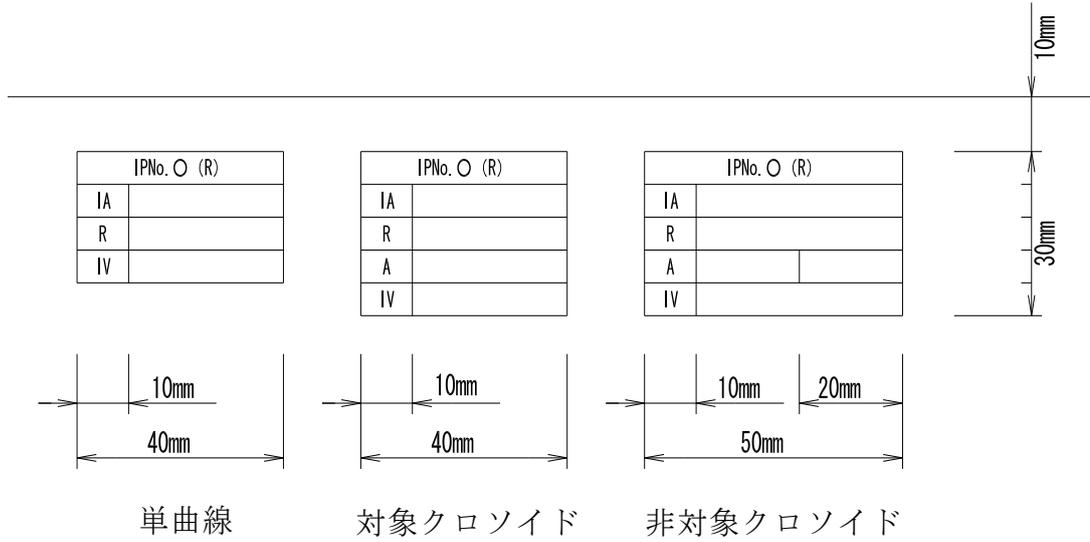
2) 図面整理番号枠の記載

- ・内枠の左上に、「2. タイトルデータ作成仕様」に定めてある整理番号1の8桁を記載する。(0010111 と 111 は固定)



6) 平面線形の様式

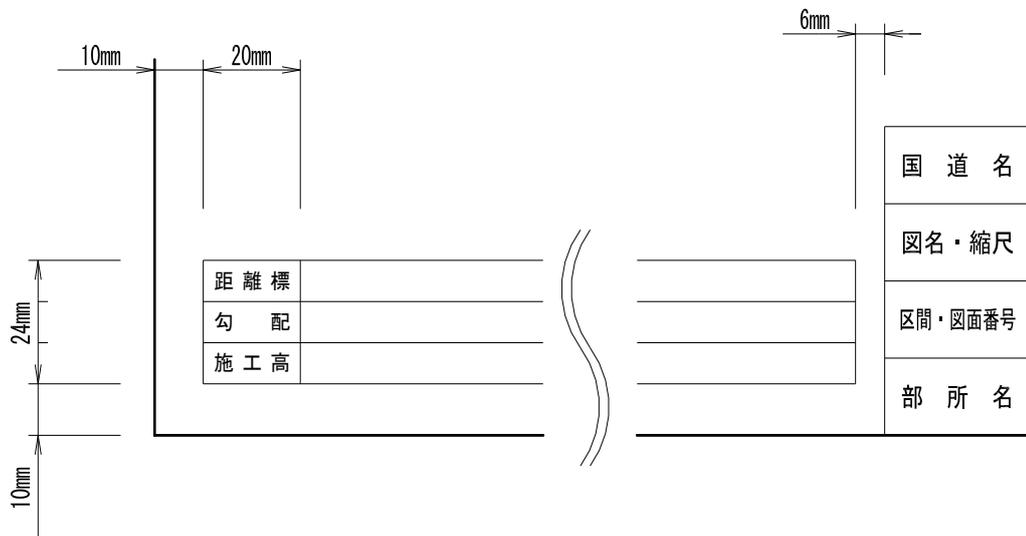
- ・上部枠の内側とし、下図を標準とする。



※折れ点の場合は、単曲線の”R”を”KP”に変更したものとす。

7) 縦断線形の様式

- ・下部枠の内側とし、位置および枠取りは下図とする。



8) 地形平面図の延長

- ・一枚の道路基本図を作成する際、図面の長さを 600mm に統一するため、図面縮尺および道路延長は下記のとおりとする。

図面縮尺	道路延長
S=1:500	300m
S=1:1,000	600m

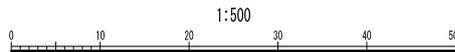
9) 図面縮尺の様式

- 下図を標準とし、凡例の下部に記載する。

図面縮尺 S=1:1,000の場合

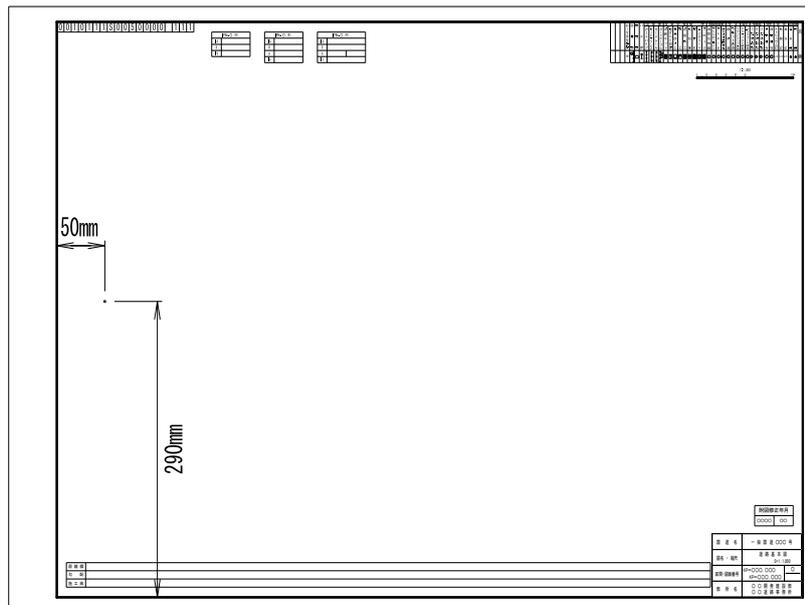


図面縮尺 S=1:500の場合



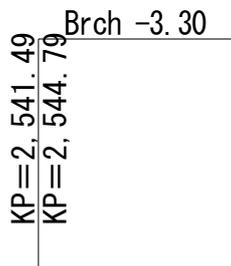
10) 地形平面図の配置

- 地形平面図の配置は、道路中心線と起点側接続線の交点を下枠から上方に 290mm、左枠から 50mm の位置を標準とする。
- 地形平面図の図面幅は、道路中心線から上下共に 80mm 程度とする。
- 道路構造管理図、付属物管理図の上下に旗上げが設定できるようにできるだけ広く余白を取るものとする。



11) 破鎖の設置

- ・線形変更等により、破鎖（ブレーキ）が発生した場合には図面上部に配置し、KPは小数第2位まで記載する。



6-3 記入内容および仕様

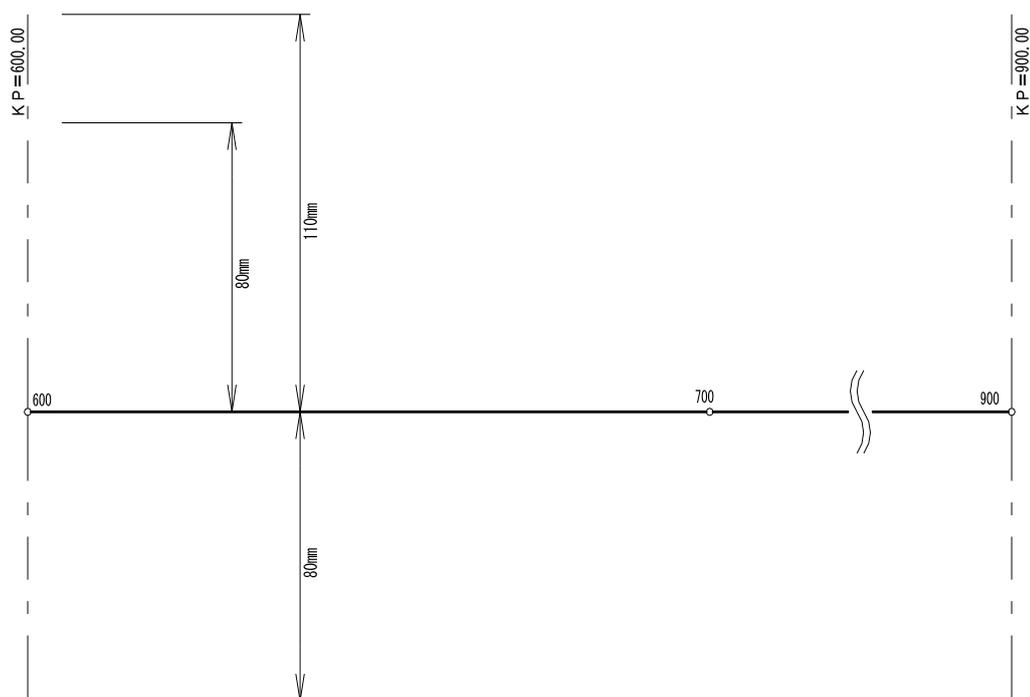
1) 方位の記号および配置位置

- ・記号は下図とし、その位置は終点と右枠の中間で、道路中心線より上方 120mm とする。



2) 起終点および距離標の記入

- ・起終点の接続線にはそれぞれ距離標を表示し、その位置は地形平面図の外側かつ道路中心線から上方 80mm を標準とする。

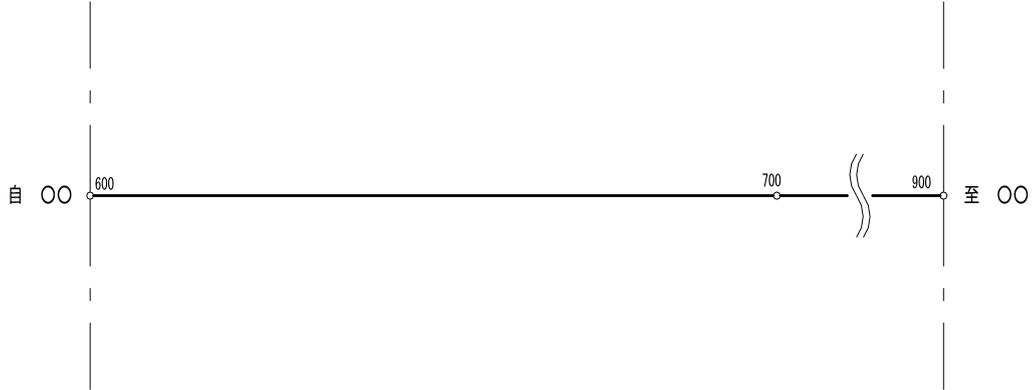


3) 市町村大字、字の名称、地番の記入

・住宅地図から上記項目を整備した道路維持台帳附図に基づいて、地名、境界等を記入する。地名等の記入位置は、道路中心線から上方 100mm、下方 80mm とする。

4) 起終点（自、至）の地名の記入

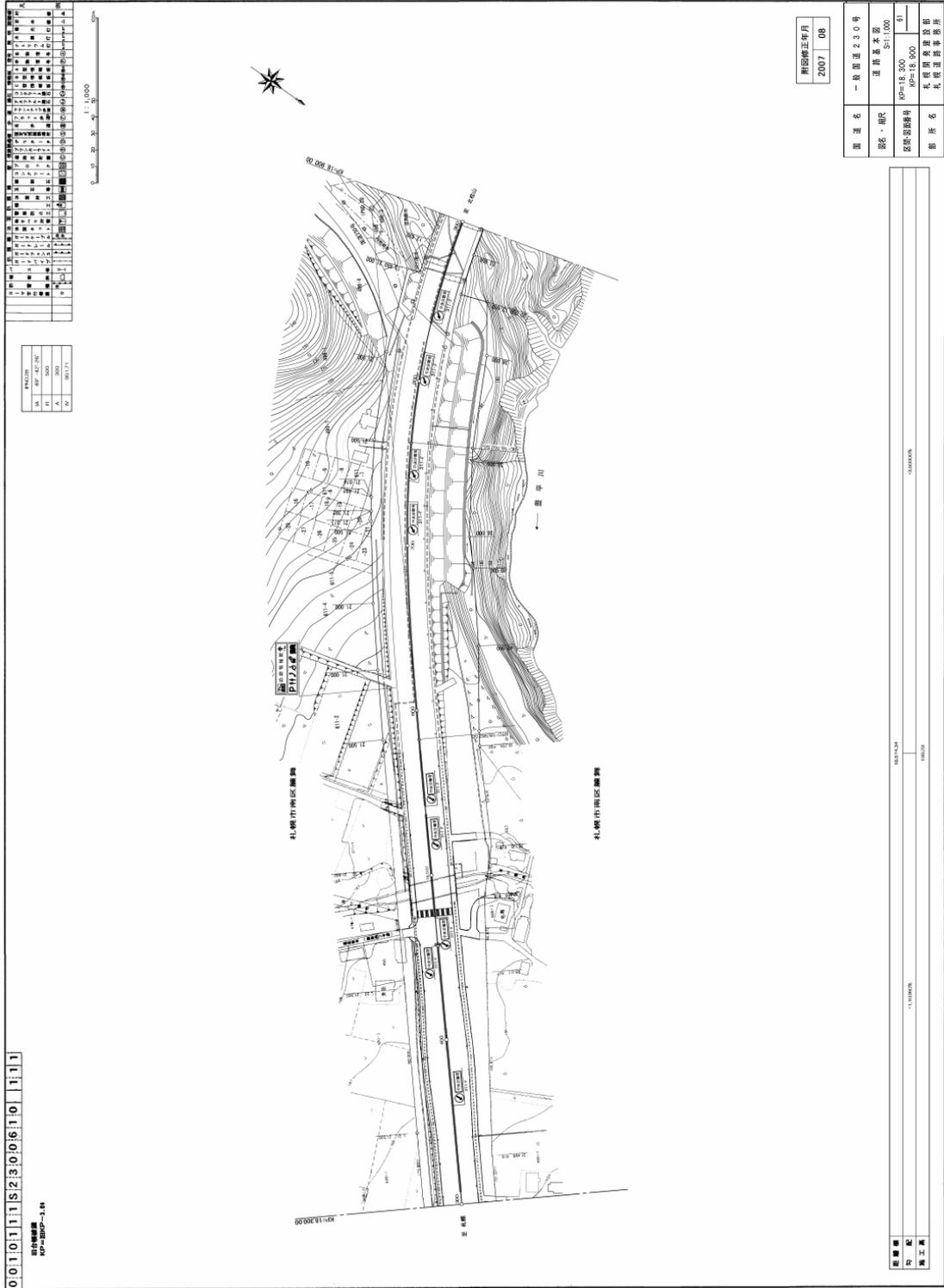
・起終点の接続線の外側に、自および至の地名を示す。



・自および至の地名については、下表に示す国道の起点、終点の地名とする。

路線	起点(自) ~ 終点(至)	路線	起点(自) ~ 終点(至)
5号	函館 ~ 札幌	242号	網走 ~ 帯広
12号	札幌 ~ 旭川	243号	網走 ~ 根室
36号	札幌 ~ 室蘭	244号	網走 ~ 根室
37号	長万部 ~ 室蘭	272号	釧路 ~ 標津
38号	滝川 ~ 釧路	273号	帯広 ~ 紋別
39号	旭川 ~ 網走	274号	札幌 ~ 標茶
40号	旭川 ~ 稚内	275号	札幌 ~ 浜頓別
44号	釧路 ~ 根室	276号	江差 ~ 苫小牧
227号	函館 ~ 江差	277号	江差 ~ 八雲
228号	函館 ~ 江差	278号	函館 ~ 森
229号	小樽 ~ 江差	279号	函館 ~ 野辺地
230号	札幌 ~ 北檜山	333号	旭川 ~ 端野
231号	札幌 ~ 留萌	334号	羅臼 ~ 美幌
232号	稚内 ~ 留萌	335号	羅臼 ~ 標津
233号	旭川 ~ 留萌	336号	浦河 ~ 釧路
234号	岩見沢 ~ 苫小牧	337号	千歳 ~ 小樽
235号	室蘭 ~ 浦河	391号	釧路 ~ 網走
236号	帯広 ~ 浦河	392号	釧路 ~ 本別
237号	旭川 ~ 浦河	393号	小樽 ~ 倶知安
238号	網走 ~ 稚内	450号	旭川 ~ 紋別
239号	網走 ~ 留萌	451号	留萌 ~ 滝川
240号	釧路 ~ 網走	452号	夕張 ~ 旭川
241号	弟子屈 ~ 帯広	453号	札幌 ~ 伊達

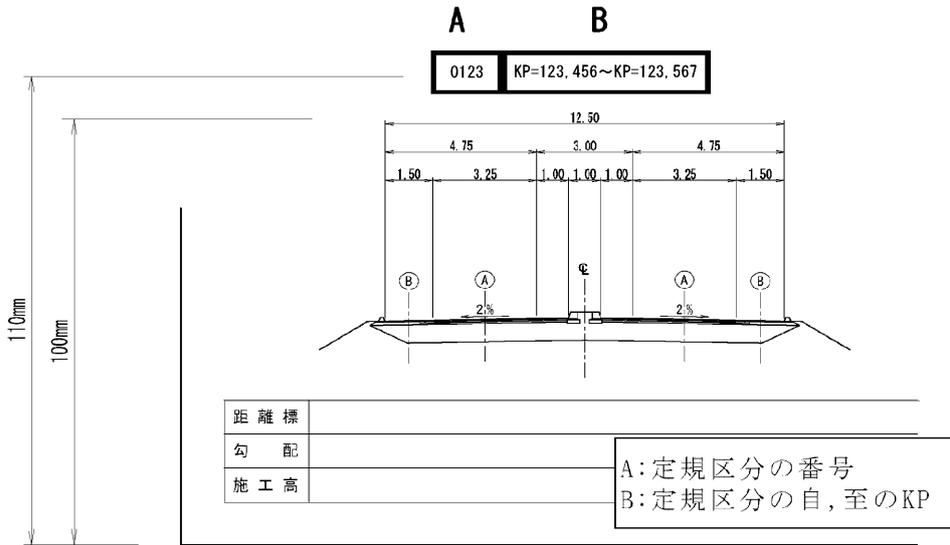
6-4 作成例



7. 道路構造管理図作成仕様

7-1 舗装定規図

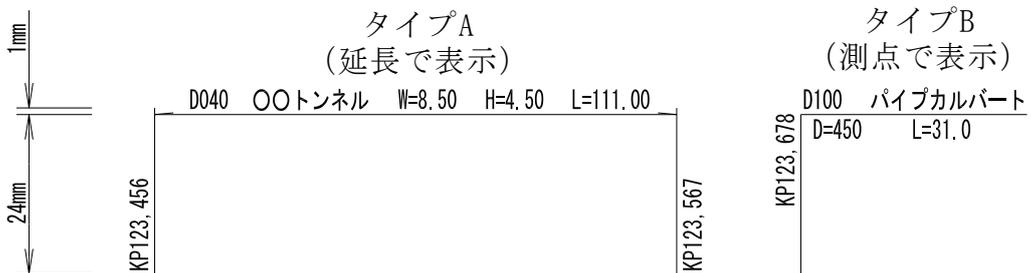
・舗装施工区分台帳図および舗装定規図を参照し、作成する附図の道路延長に対応する舗装定規図を記載する。記載内容および位置は、下図を標準とする。



※舗装定規図の自、至のKPが2枚の附図に重複する場合は、各々の附図に舗装定規図を記載する。

7-2 コード番号の表示および記入項目

1) 旗上げ表示方法



・タイプA、タイプBとも、上下枠線と平行に旗上げする。

2) 旗上げ記載内容

下記に旗上げ記載内容と、対応する道路管理データベースデータの項目名を示す。
 ※旗上げはそれぞれ上り下り区分（分割区分）に従い配置し、共通の場合は下り側に配置することを基本とする。なお、例外は「旗上げ記載内容と留意点」に示す。

道路維持台帳附図旗上げ			道路管理データベースデータ		
コード	工種名	旗上げ記載内容と留意点	コード	項目名	項目内容
C060	道路交差点	交差点名称 条丁の文字は記載しない(例、北1西1交差点) 4差路以上(R・Lに従道路)は下りに旗上げ 上り下り区分がないので図面を見て判断する	C060	名称 百米標 距離	交差点名称 測点
C070	鉄道交差点	交差点名称 1点あげは下り、2点あげは上りに旗上げ	C070	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至	交差点名称 起点側測点 終点側測点
C090	独立専用自歩道	自歩道専用区分 W=0 L=0 Wは定規図の幅員、Lは実延長 上り下り区分がないので図面を見て判断する	C090	自歩道専用区分 百米標自 距離自 百米標至 距離至 実延長	自歩道専用区分 起点側測点 終点側測点 L
C100	中央帯	中央帯 W=0.00 L=0.0 下りに旗上げ Wは中央帯幅員、Lは附図区間の中央帯延長	C100	百米標自 距離自 百米標至 距離至 中央帯延長 中央帯幅員	起点側測点 終点側測点 L W
D010	橋梁	橋梁名 W=0.00 L=0.00 Wは有効幅員、Lは橋長 上下線一体の場合は下りに旗上げ 上下分離の場合は上り、下りに分けて、(上り)、(下り)と記載 D011の有効幅員は橋梁コードから探す	D010	分割区分 名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 橋長	上り、下り、一体 橋梁名 起点側測点 終点側測点 L
			D011	有効幅員	W
D020	橋側歩道橋	橋梁名（右歩道）or（左歩道） W=0.00 L=0.00 Wは有効幅員、Lは橋長 D021の有効幅員は橋梁コードから探す 右歩道は上り、左歩道は下りに旗上げ	D020	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 橋長	橋梁名 起点側測点 終点側測点 L
			D021	有効幅員	W
D030	横断歩道橋	橋名 W=0.0 L=0.0 下りに旗上げ Wは幅員、Lは橋長	D030	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 橋長 幅員	橋名 起点側測点 終点側測点 L W

道路維持台帳附図旗上げ			道路管理データベースデータ		
コード	工種名	旗上げ記載内容と留意点	コード	項目名	項目内容
D040	トンネル	トンネル名 W=0.00 H=0.00 L=0.0 上下分離以外は下りに旗上げ Wは道路幅、Hは建築限界高、Lはトンネル延長	D040	分割区分 名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 トンネル延長 建築限界高 道路幅	上り、下り、共用 トンネル名 起点側測点 終点側測点 L H W
D050	洞門	洞門名 W=0.00 H=0.00 L=0.0 上下分離以外は下りに旗上げ Wは道路幅、Hは建築限界高、Lは延長	D050	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 延長 建築限界高 道路幅	洞門名 起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 L H W
D060	スノーシェッド	スノーシェッド名 W=0.00 H=0.00 L=0.0 上下分離以外は下りに旗上げ Wは道路幅、Hは建築限界高、Lは延長	D060	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 延長 建築限界高 道路幅	スノーシェッド名 起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 L H W
D070	地下横断歩道	地下横断歩道名 W=0.00 H=0.00 L=0.0 上下分離以外は下りに旗上げ Wは内空幅、Hは内空高、Lは延長	D070	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 延長 内空幅 内空高	地下横断歩道名 起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 L W H
D080	道路BOX	道路ボックス名 W=0.00 H=0.00 L=0.0 下りに旗上げ Wは道路部、Hは建築限界高、Lは延長	D080	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 延長 道路部 建築限界高	道路ボックス名 起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 L W H
D090	横断BOX	ボックスカルバート W=0.00 H=0.00 L=0.0 上下分離以外は下りに旗上げ Wは内空幅、Hは内空高、Lは延長	D090	百米標 距離 上り下り区分 延長 内空幅 内空高	測点 上り、下り、共通 L W H

道路維持台帳附図旗上げ			道路管理データベースデータ		
コード	工種名	旗上げ記載内容と留意点	コード	項目名	項目内容
D100	パイプカルバート	パイプカルバート D=0 L=0.0 Dは管径、Lは延長	D100	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 管径 延長 備考	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 D L 延長
D110	のり面	のり面 L=0 LはKP間の差引 種別名は不要(対策工は擁壁、落石防止施設でデータ作成)	D110	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通
D120	擁壁	構造形式 H=0.0~0.0 L=0.0 Hは最小高~最大高、Lは擁壁延長 構造形式が「その他の擁壁」の場合、項目名の備考欄(※)にある構造形式を記載する(備考にない場合は「擁壁」)	D120	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 構造形式 擁壁延長 最大高 最小高 備考(※)	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 構造形式(擁壁名) L H H 擁壁名
E130	自動車駐車場	駐車場名 W=0.0 L=0.0 Wは幅員、Lは総延長	E130	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分	駐車場名 起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通
E140	自転車駐車場	駐車場名 A=0 Aは駐車場面積	E140	名称 百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 駐車場面積	駐車場名 起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 A

3) 旗上げ位置

表示する旗上げには、工種、表示方法（タイプA、タイプB）、上り下りにより、それぞれ位置が異なる。また、中央帯に構造物がある場合は（）の位置となる。

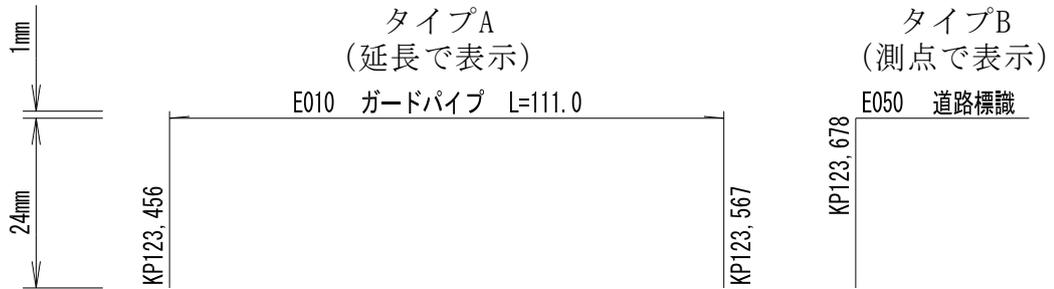
工種名	表示方法		下り（上柵線からの旗上げ位置）					上り（下柵線からの旗上げ位置）			
	タイプA	タイプB	130mm	115mm	100mm	85mm	70mm	(175mm)	160mm (160mm)	145mm (145mm)	130mm (130mm)
C060 道路交差点		○	○						○		
C070 鉄道交差点	◎	○	○							◎	
C090 独立専用自歩道	◎				◎					◎	
C100 中央帯	◎				◎						
D010 橋梁	◎					◎					◎
D020 橋側歩道橋	◎					◎					◎
D030 横断歩道橋	◎	○	○			◎					
D040 トンネル	◎					◎					◎
D050 洞門	◎					◎					◎
D060 スノーシェッド	◎					◎					◎
D070 地下横断歩道	◎	○	○			◎					
D080 道路BOX	◎					◎					
D090 横断BOX	◎	○	○			◎					
D100 パイプカルバート	◎	○	○			◎				○・◎	
D110 のり面	◎				◎					◎	
D120 擁壁	◎	○		○・◎						○・◎	
E130 自動車駐車場	◎			◎						◎	
E140 自転車駐車場	◎			◎						◎	

8. 付属物管理図作成仕様

8-1 コード番号の表示および記入項目

1) 旗上げ表示方法

- 表示方法については、道路構造管理図と同様に作成するものとする。



- タイプA、タイプBとも、上下枠線と平行に旗上げする。

2) 旗上げ記入項目

下記に旗上げ記載内容と、対応する道路管理データベースデータの項目名を示す。
 ※旗上げはそれぞれ上り下り区分（分割区分）に従い配置し、共通の場合は下り側に配置することを基本とする。なお、例外は「旗上げ記載内容と留意点」に示す。

道路維持台帳附図旗上げ			道路管理データベースデータ		
コード	工種名	旗上げ記載内容と留意点	コード	項目名	項目内容
D010	橋梁	橋梁名 W=0.00 L=0.00 Wは有効幅員、Lは橋長 上下線一体の場合は下りに旗上げ 上下分離の場合は上り、下りに分けて、(上り)、(下り)と記載 D011の有効幅員は橋梁コードから探す	D010	分割区分	上り、下り、一体
				名称	橋梁名
				百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
橋長	L				
D011	有効幅員	W			
D020	橋側歩道橋	橋梁名（右歩道）or(左歩道) W=0.00 L=0.00 Wは有効幅員、Lは橋長 D021の有効幅員は橋梁コードから探す 右歩道は上り、左歩道は下りに旗上げ	D020	名称	橋梁名
				百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				橋長	L
D021	有効幅員	W			
D040	トンネル	トンネル名 W=0.00 H=0.00 L=0.0 上下分離以外は下りに旗上げ Wは道路幅、Hは建築限界高、Lはトンネル延長	D040	分割区分	上り、下り、共用
				名称	トンネル名
				百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				トンネル延長	L
				建築限界高	H
道路幅	W				
D050	洞門	洞門名 W=0.00 H=0.00 L=0.0 上下分離以外は下りに旗上げ Wは道路幅、Hは建築限界高、Lは延長	D050	名称	洞門名
				百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				上り下り区分	上り、下り、共通
				延長	L
				建築限界高	H
道路幅	W				
D060	スノーシェッド	スノーシェッド名 W=0.00 H=0.00 L=0.0 上下分離以外は下りに旗上げ Wは道路幅、Hは建築限界高、Lは延長	D060	名称	スノーシェッド名
				百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				上り下り区分	上り、下り、共通
				延長	L
				建築限界高	H
道路幅	W				

道路維持台帳附図旗上げ			道路管理データベースデータ		
コード	工種名	旗上げ記載内容と留意点	コード	項目名	項目内容
E010	防護柵	防護柵名称 L=0.0 Lは設置延長 上下線共通の場合は上りに旗上げし、中央帯に付属物がある場合の位置とする	E010	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 防護柵種別 設置延長 備考	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 防護柵名称 L 防護柵名称
E020	道路照明	道路照明 トンネル照明はまとめて基数を記載 ○○トンネル内 ○基 ※旗上げと照明マークは同時に記載 トンネル照明の場合、灯数1～3と備考の合計 設置箇所が中央帯の場合は上りに旗上げし、中央帯に付属物ある場合の位置とする	E020	百米標 距離 設置区分 設置箇所 灯数1 灯数2 灯数3 備考	測点 上り、下り、中央帯
E030	反射式視線誘導標	視線誘導標(反射式) 片面or両面 ○本 L=0.0 LはKPの差引 上下線共通の場合は上りに旗上げし、中央帯に付属物がある場合の位置とする	E030	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 誘導標種類 個数	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 片面、両面 ○本
E040	自光式視線誘導標	視線誘導標(自光式) 密集箇所はまとめて本数を記載 ○本 上下線共通の場合は上りに旗上げし、中央帯に付属物がある場合の位置とする	E040	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通
E050	道路標識	道路標識 ※旗上げと標識板絵柄は同時に記載 上下線共通は門型と中央分離帯があり、旗上げ位置が異なる	E050	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通
E060	道路情報板	情報板種別	E060	百米標 距離 上り下り区分 情報板種別	測点 上り、下り、共通 情報板種別
E070	交通遮断機	交通遮断機	E070	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通
E080	I. T. V	I・T・V	E080	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通
E090	車両感知器	車両感知器	E090	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通
E100	車両諸元計測施設	車両諸元計測施設	E100	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通
E110	気象観測施設	気象観測施設 同一測点の場合は旗上げ1本	E110	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通
E120	災害予知装置	災害予知装置	E120	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通

道路維持台帳附図旗上げ			道路管理データベースデータ		
コード	工種名	旗上げ記載内容と留意点	コード	項目名	項目内容
E150	雪崩防止施設	施設名称 H=0.0 L=0.0 Hは高さ、Lは延長 施設種別名は長いため、下記のように省略して記載 なだれ施設予防杭→雪崩予防杭 なだれ施設予防柵→雪崩予防柵 なだれ施設吊枠→雪崩吊柵 なだれ施設吊柵→雪崩吊柵 なだれ施設スノーネット→雪崩防止施設(スノーネット) なだれ施設雪庇予防柵→雪崩予防柵 なだれ施設防護柵→雪崩防護柵 なだれ施設補助防護柵(擁壁上の補高材) →雪崩補助防護柵 なだれ施設防護杭→雪崩防護杭 なだれ施設誘導柵→雪崩誘導柵 なだれ施設階段工→雪崩防止施設(階段工) なだれ施設誘導壁→雪崩誘導壁 ふぶき・吹きだまり施設吹きだめ柵(防護柵) →吹きだめ柵 ふぶき・吹きだまり施設吹き払い柵(防護柵) →吹き払い柵	E150	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 施設種別 延長 高さ 備考	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 施設名称 L H 施設名称
E160	落石防止施設	施設名称 H=0.0 L=0.0 Hは高さ、Lは延長	E160	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 施設種別 延長 高さ 備考	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 施設名称 L H 施設名称
E170	消雪パイプ	消雪パイプ	E170	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通
E180	ロードヒーティング	(歩)or(車) ロードヒーティング W=0.0 L=0.0 Wは各ヒーティング幅、Lは延長	E180	百米標自 距離自 百米標至 距離至 上り下り区分 設置区分 車道ヒーティング幅 歩道ヒーティング幅 延長	起点側測点 終点側測点 上り、下り、共通 歩道、車道 W W L
E190	除雪ステーション	除雪ステーション	E190	百米標 距離 上り下り区分	測点 上り、下り、共通

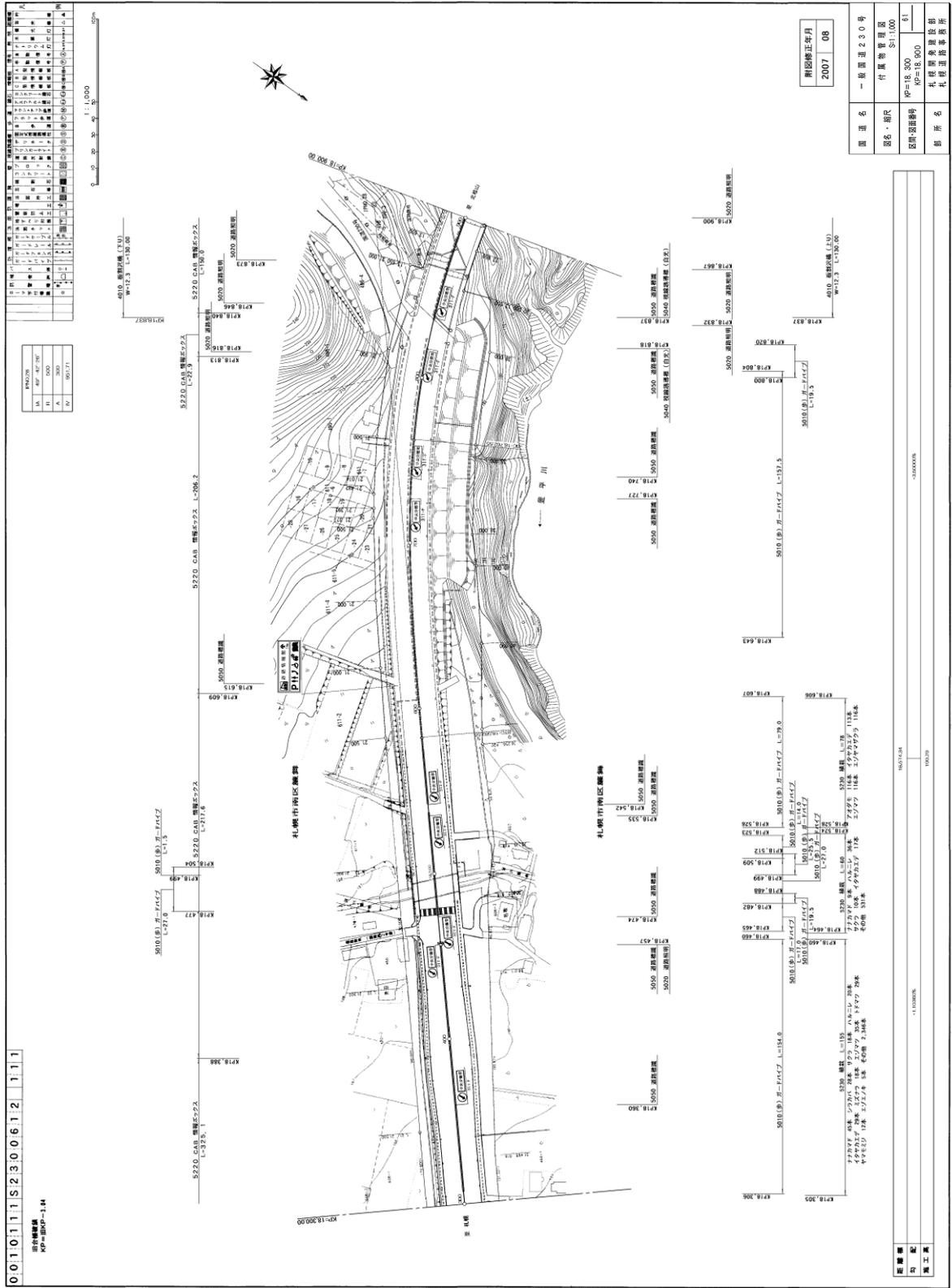
道路維持台帳附図旗上げ			道路管理データベースデータ		
コード	工種名	旗上げ記載内容と留意点	コード	項目名	項目内容
E220	C A B 電線共同溝	施設名称 L=0.0 Lは本体完成延長 設置区分はC A B、電線共同溝、情報ボックスの3区分 設置区分が電線共同溝の場合は本体完成延長不要 上下線共通のうち、横断している場合は下りに、車道部中央に縦断している場合は上りに旗上げし、後者は中央帯に付属物が	E220	百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				上り下り区分	上り、下り、共通
				本体完成延長	L
設置区分	施設名称				
E230	植栽	植栽 樹木名 本数 L=0 Lは延長 樹木名は代表的な3つを記載し、それ以外はまとめる (その他 ○本) E231の樹木種別、本数はキー項目から探す 本数「？」は種別のみ記載 備考に樹木名がある場合はその名称を優先 上下線共通の場合は上りに旗上げし、中央帯に付属物がある 場合の位置とする	E230	百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
			上り下り区分	上り、下り、共通	
			延長	L	
E231			樹木種別	樹木名	
			本数	○本	
			備考	樹木名	
E240	遮音施設	遮音施設 H=0.0~0.0 L=0.0 Hは最小高~最大高、Lは延長	E240	百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				上り下り区分	上り、下り、共通
				延長	L
最大高	H				
最小高	H				
E250	遮光フェンス	遮光フェンス H=0.0~0.0 L=0.0 Hは最小高~最大高、Lは延長	E250	百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				上り下り区分	上り、下り、共通
				延長	L
最大高	H				
最小高	H				
E270	流雪溝	流雪溝 W=0.0 H=0.0 L=0 Wは幅、Hは高さ、Lは延長	E270	百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				上り下り区分	上り、下り、共通
				延長	L
幅	W				
高さ	H				
E330	光ケーブル	光ケーブル T=○本 F	E330	百米標自	起点側測点
				距離自	
				百米標至	終点側測点
				距離至	
				ケーブル種類	T
				ケーブル形式	F
表装芯数	○本				
E350	ビーコン	ビーコン	E350	百米標	測点
				距離	
				上り下り区分	上り、下り、共通

3) 旗上げ位置

道路構造管理図と同様、表示する旗上げには、工種、表示方法（タイプA、タイプB）、上り下りにより、それぞれ位置が異なる。また、中央帯に付属物がある場合は（ ）の位置となる。

工種名	表示方法		下り(上粒線からの旗上げ位置)						上り(下粒線からの旗上げ位置)								
	タイプA	タイプB	130mm	115mm	100mm	85mm	70mm	55mm	(175mm)	(160mm)	(145mm)	(130mm)	175mm	160mm	145mm	130mm	115mm
																	(70mm)
D010 橋梁	◎						◎										◎
D020 橋側歩道橋	◎						◎										◎
D040 トンネル	◎						◎										◎
D050 洞門	◎						◎										◎
D060 スノージェット	◎						◎										◎
E010 防護柵	◎	○			○・◎										○・◎		
E020 道路照明		○	○										○				
E030 反射式視線誘導標	◎	○		○・◎										○・◎			
E040 自光式視線誘導標		○	○									○					
E050 道路標識		○	○									○					
E060 道路情報板		○	○									○					
E070 交通遮断機		○	○									○					
E080 I.T.V		○	○									○					
E090 車両感知器		○	○									○					
E100 車両諸元計測施設		○	○									○					
E110 気象観測施設		○	○									○					
E120 災害予知装置		○	○						◎								
E150 雪崩防止施設	◎																
E160 落石防止施設	◎																
E170 消雪パイプ	◎	○	○				◎									◎	
E180 ロードヒーターインゲ	◎	○	○				○・◎									○・◎	
E190 除雪ステーション		○	○														
E220 C A B電線共同溝	◎	○		○・◎											○・◎		
E230 植栽	◎	○															○・◎
E240 遮音施設	◎																◎
E250 遮光フェンス	◎																◎
E270 流雪溝	◎																◎
E330 光ケーブル	◎	○	○														
E350 ビーコン		○	○										○				

8-2 作成例



9. 変更箇所が判断できる資料の作成

新規供用・線形変更等に伴う距離標変更に係る図面等変更箇所が判断できる資料を作成する。変更箇所と変更内容が記載されていることとし、「2. タイトルデータ作成仕様」に従い作成されたタイトルデータを編集加工しても良い。サンプルを以下に示す。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
	地盤	事務所	出張所	路線	現旧	整理番号	整理	整理	百米標	距離	百米標	距離	変更内容
1	C	C	C	C	区分C	1	番号2	番号3	自	自	至	至	
2	81	21	42	0036	1	S0360250	0000	0000	7.2	0	7.5	0	交差点改良・歩道設置
3	81	21	42	0036	1	S0360251	0000	0000	7.2	0	7.5	0	交差点改良・歩道設置
4	81	21	42	0036	1	S0360252	0000	0000	7.2	0	7.5	0	交差点改良・歩道設置
5	81	21	42	0231	1	S2310500	0000	0000	20.7	0	21.3	0	バス停車帯設置(下) L=78.85
6	81	21	42	0231	1	S2310501	0000	0000	20.7	0	21.3	0	バス停車帯設置(下) L=78.85
7	81	21	42	0231	1	S2310502	0000	0000	20.7	0	21.3	0	バス停車帯設置(下) L=78.85
8	81	21	43	0012	1	I0120980	0000	0000	49.8	0	50.4	0	道路拡幅・中央分離帯設置 KP50,400~KP50,850
9	81	21	43	0012	1	I0120981	0000	0000	49.8	0	50.4	0	道路拡幅・中央分離帯設置 KP50,400~KP50,850
10	81	21	43	0012	1	I0120982	0000	0000	49.8	0	50.4	0	道路拡幅・中央分離帯設置 KP50,400~KP50,850
11	81	21	43	0337	3	I3375180	0000	0000	0	0	0.3	64	新規作成
12	81	21	43	0337	3	I3375181	0000	0000	0	0	0.3	64	新規作成
13	81	21	43	0337	3	I3375182	0000	0000	0	0	0.3	64	新規作成
14	81	21	44	0337	1	C3370650	0000	0000	38	0	38.6	0	道路拡幅・線形変更 KP38,000~KP38,230
15	81	21	44	0337	1	C3370651	0000	0000	38	0	38.6	0	道路拡幅・線形変更 KP38,000~KP38,230
16	81	21	44	0337	1	C3370652	0000	0000	38	0	38.6	0	道路拡幅・線形変更 KP38,000~KP38,230